

株式会社ハイレックスコーポレーション

**2025年10月期
第1四半期決算のご説明
(IR資料)**

- 2025年10月期第1四半期決算概要（連結）
営業利益～純利益（連結）
- 連結貸借対照表・設備投資の状況
2025年度 通期業績予想・中期計画値
- 事業の現状と今後の方向性/取組について
- 株主還元

決算概要（連結）～ セグメント別業績
営業利益～純利益

決算サマリー（連結）

- * 売上高は、主に欧州事業での顧客の販売低迷影響により減収となる。
- * 営業利益は、主に前年に発生した北米事業での一時費用が解消された影響で増益となる。

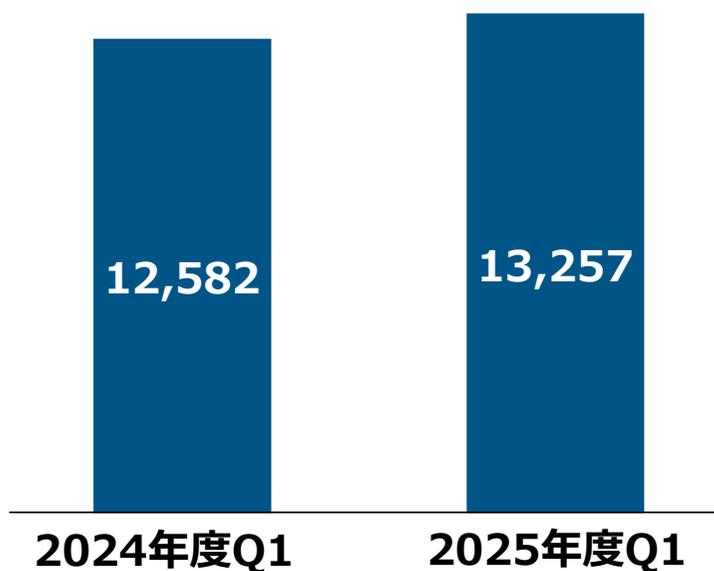
(百万円)

	2025年10月期 第1四半期実績	2024年10月期 第1四半期実績	増減額	増減率
売上高	77,503	78,368	▲864	▲1.1%
営業利益	1,355	208	+1,147	+550.0%
経常利益	1,765	1,118	+577	+48.6%
四半期純利益	751	494	+257	+52.1%

地域セグメント 日本

- * 売上高は、顧客への売上が堅調に推移し5.4%の増収となった
- * 営業損益は、利益改善進めるも2024年度から微増に留まる

■ 売上高（外部顧客）（百万円）

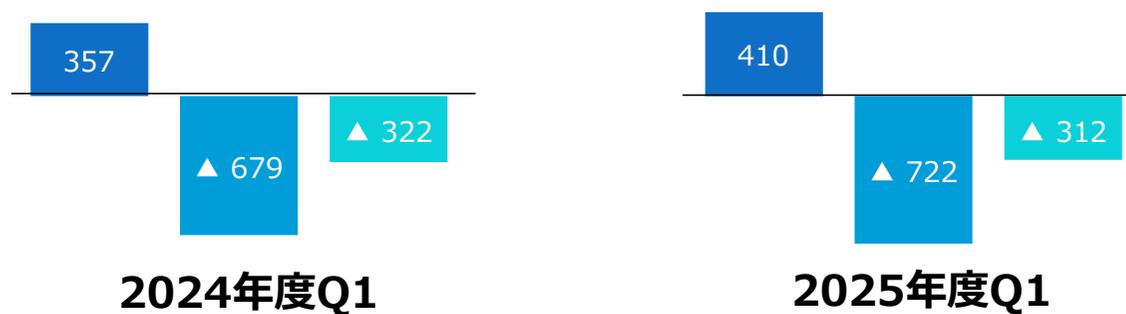


■ 2024年度比 増減額・増減率

売上高	+674百万円（+5.4%）
営業利益	+53百万円（+15.0%）

■ 営業利益

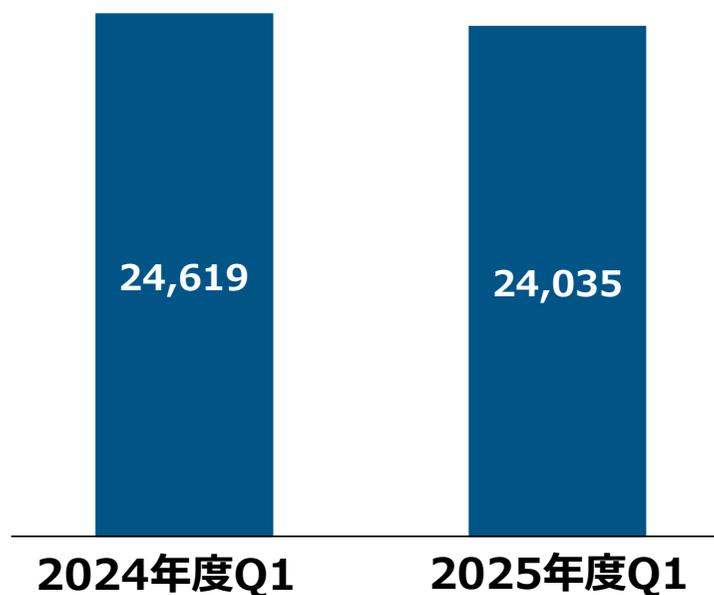
■ セグメント ■ 本社費用 ■ 調整後（百万円）



地域セグメント 北米

- * 売上高は、円安影響823百万円を控除すると対前年では▲5.7%の減収となった
- * 営業損益は、主に前第1四半期で発生した一時費用が解消された影響で増益となる

■ 売上高（外部顧客） （百万円）



■ 2024年度比 増減額・増減率

売上高	▲583百万円（▲2.4%）
営業利益	+1,185百万円（－）

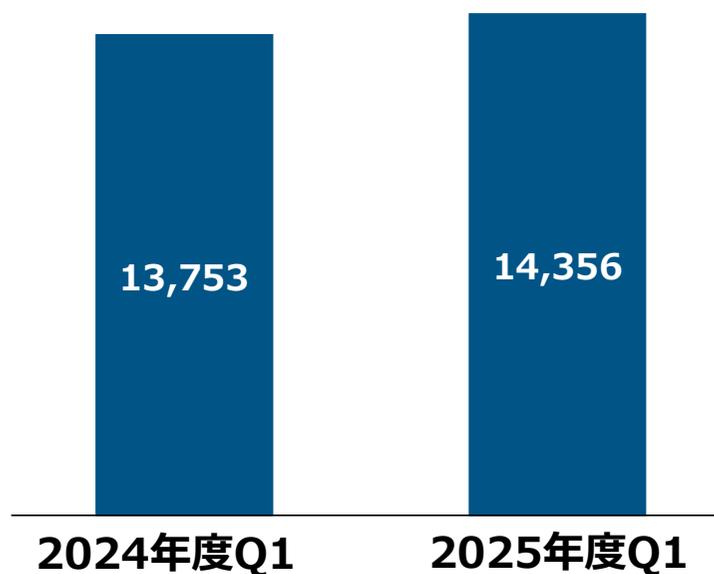
■ 営業利益 （百万円）



地域セグメント 中国

- 売上高は、中国ローカル自動車メーカー向け販売が堅調に推移した
- * 営業損益は、販売の伸びと仕入コスト削減の影響で+19.7%の増益となった

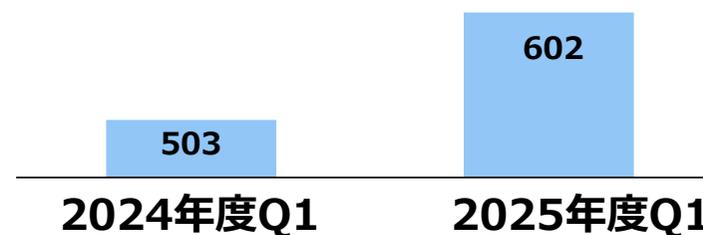
■ 売上高（外部顧客）（百万円）



■ 2024年度比 増減額・増減率

売上高	+603百万円（+4.4%）
営業利益	+99百万円（+19.7%）

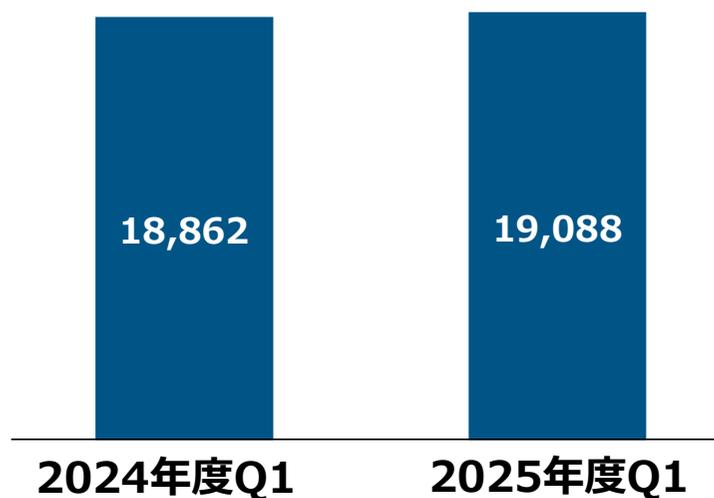
■ 営業利益（百万円）



地域セグメント アジア (韓国、インド、インドネシア、ベトナム)

- * 売上高は、韓国、インド、ベトナムの販売が堅調で前年比+1.2%の増収となった
- * 営業利益は、売上増加による操業度改善で+11.3%の増益となった

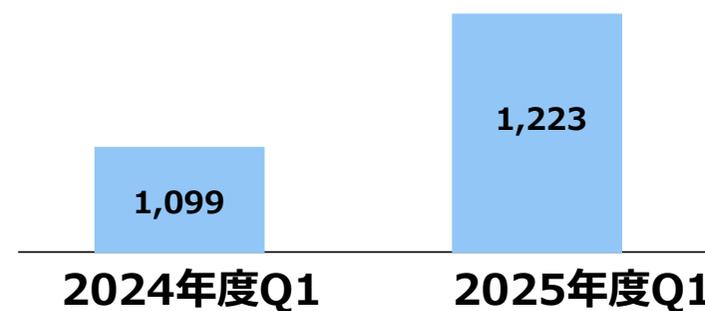
■ 売上高 (外部顧客) (百万円)



■ 2024年度比 増減額・増減率

売上高	+226百万円 (+1.2%)
営業利益	+124百万円 (+11.3%)

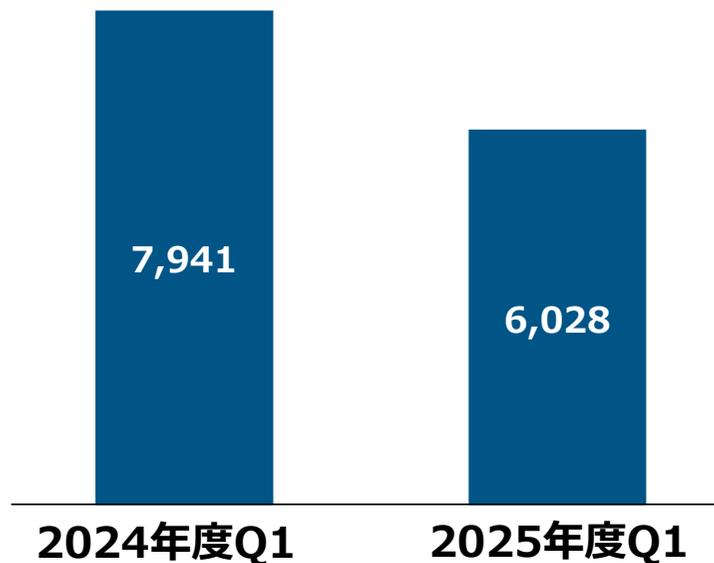
■ 営業利益 (百万円)



地域セグメント 欧州 (ハンガリー/イタリア/スペイン/チェコ/セルビア)

- * 売上高は欧州自動車メーカーの生産減少影響で▲24.1%の減収となった
- * 営業損益は、売上減少に伴う固定費負担の増加により減益となった

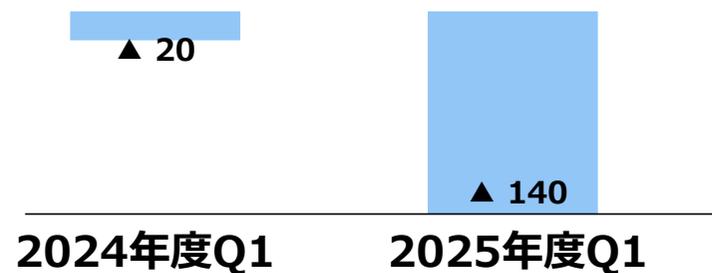
■ 売上高 (外部顧客) (百万円)



■ 2024年度比 増減額・増減率

売上高	▲1,913百万円 (▲24.1%)
営業利益	▲120百万円 (—)

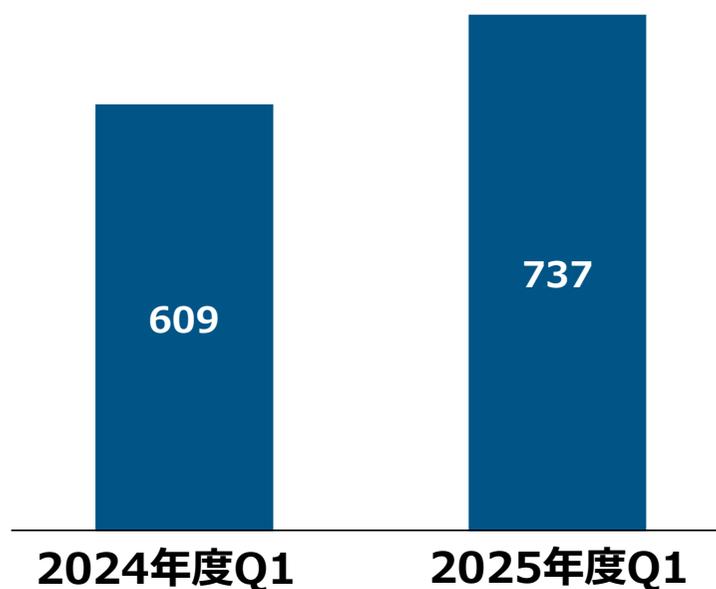
■ 営業利益 (百万円)



地域セグメント 南米

- * 売上高は、主要顧客の増産影響により+20.9%の増収となった
- * 営業損益は、外貨高による輸入コスト増加あるも、販売増加により営業損失額は減少

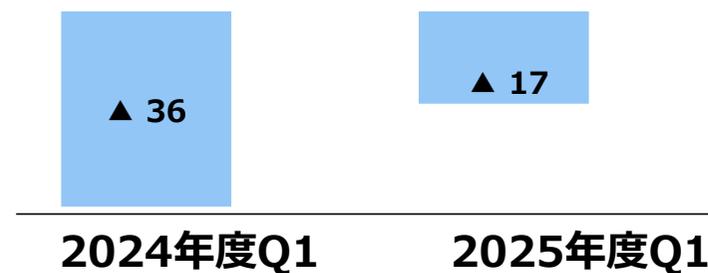
■ 売上高（外部顧客）（百万円）



■ 2024年度比 増減額・増減率

売上高	+127百万円 (+20.9%)
営業利益	+19百万円 (—)

■ 営業利益（百万円）

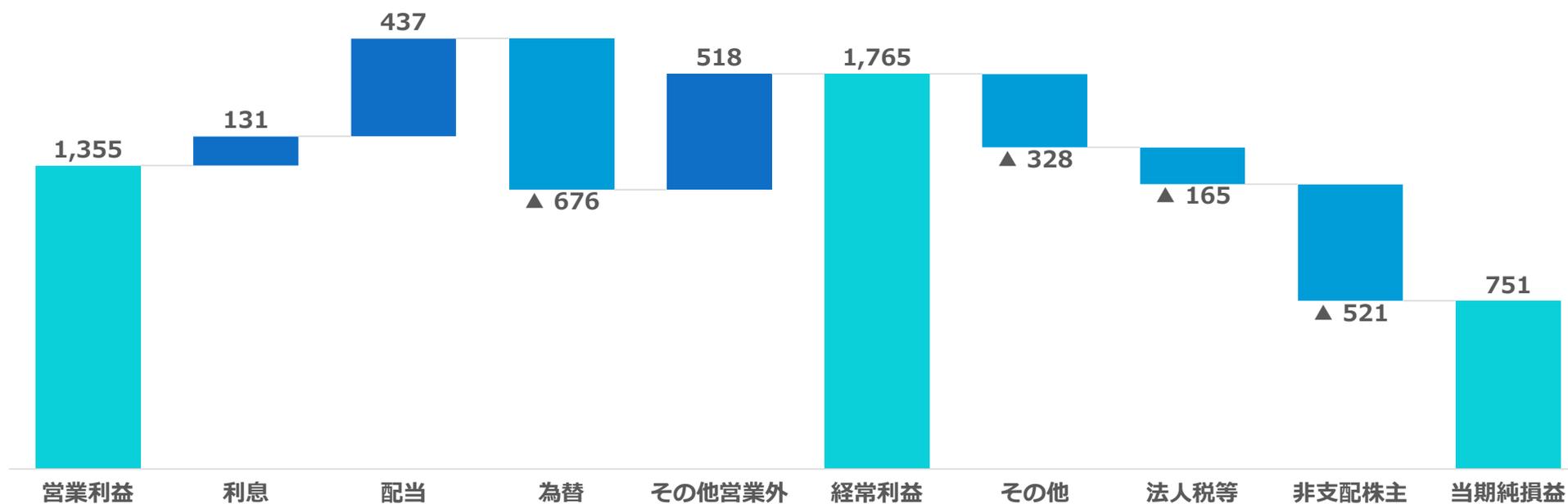


営業利益～純利益（連結）

* 主な営業外収益・費用は、為替差損▲676百万円、配当437百万円等

* 主な特別損失その他は、子会社清算による損失▲190百万円等

(単位：百万円)



連結貸借対照表～設備投資～通期業績予想～中期計画値

連結貸借対照表

* 為替換算調整勘定の増加71億9千3百万円等でその他包括利益累計額が増加

* 自己資本比率 63.6%

(単位：百万円)

	23年10月	24年10月	25年1月	対24年増減
流動資産	151,671	146,659	149,758	+3,098
現預金	46,310	50,175	47,000	▲3,174
受手・売掛金	51,475	47,704	50,859	+3,154
有価証券	10,000	7,345	7,611	+266
棚卸資産	36,364	34,750	36,683	+1,932
その他	7,520	6,684	7,604	+919
固定資産	129,317	123,597	128,532	+4,935
有形固定資産	66,052	63,250	66,339	+3,088
無形固定資産	4,027	3,966	4,084	+117
投資その他	59,237	56,382	58,111	+1,729
資産合計	280,994	270,260	278,294	+8,033

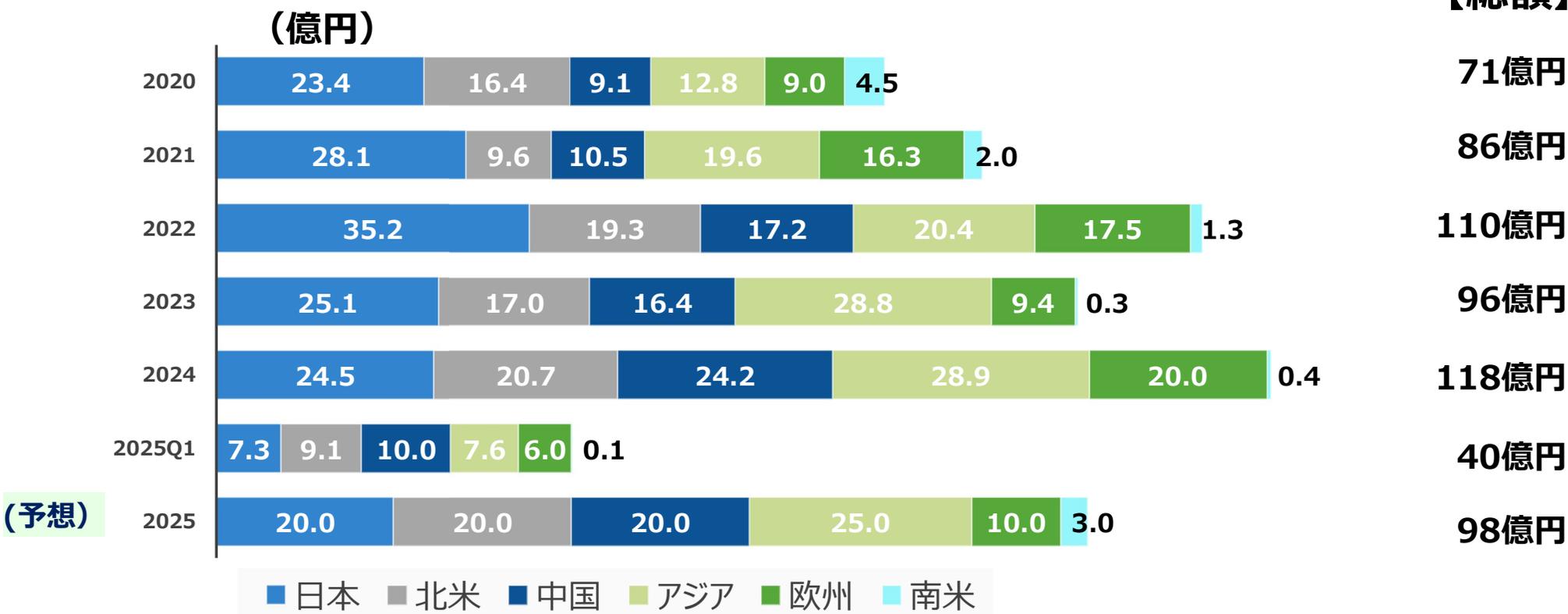
	23年10月	24年10月	25年1月	対24年増減
流動負債	74,029	69,689	68,290	▲1,398
固定負債	15,785	15,983	16,324	+340
負債合計	89,814	85,673	84,614	▲1,058
株主資本	131,054	129,773	129,875	+102
その他包括利益累計額	44,339	39,188	47,080	+7,892
新株予約権	33	33	33	—
非支配株主持分	15,752	15,592	16,689	+1,097
純資産合計	191,179	184,587	193,679	+9,092
負債・純資産合計	280,994	270,260	278,294	+8,033

設備投資の状況

2025年は総額98億円の設備投資を計画。

- * 日本、北米は生産拠点の最適化にともなう投資等
- * 中国、アジアはシステム製品の生産設備への投資等

【総額】



2025年度 通期業績予想（連結）

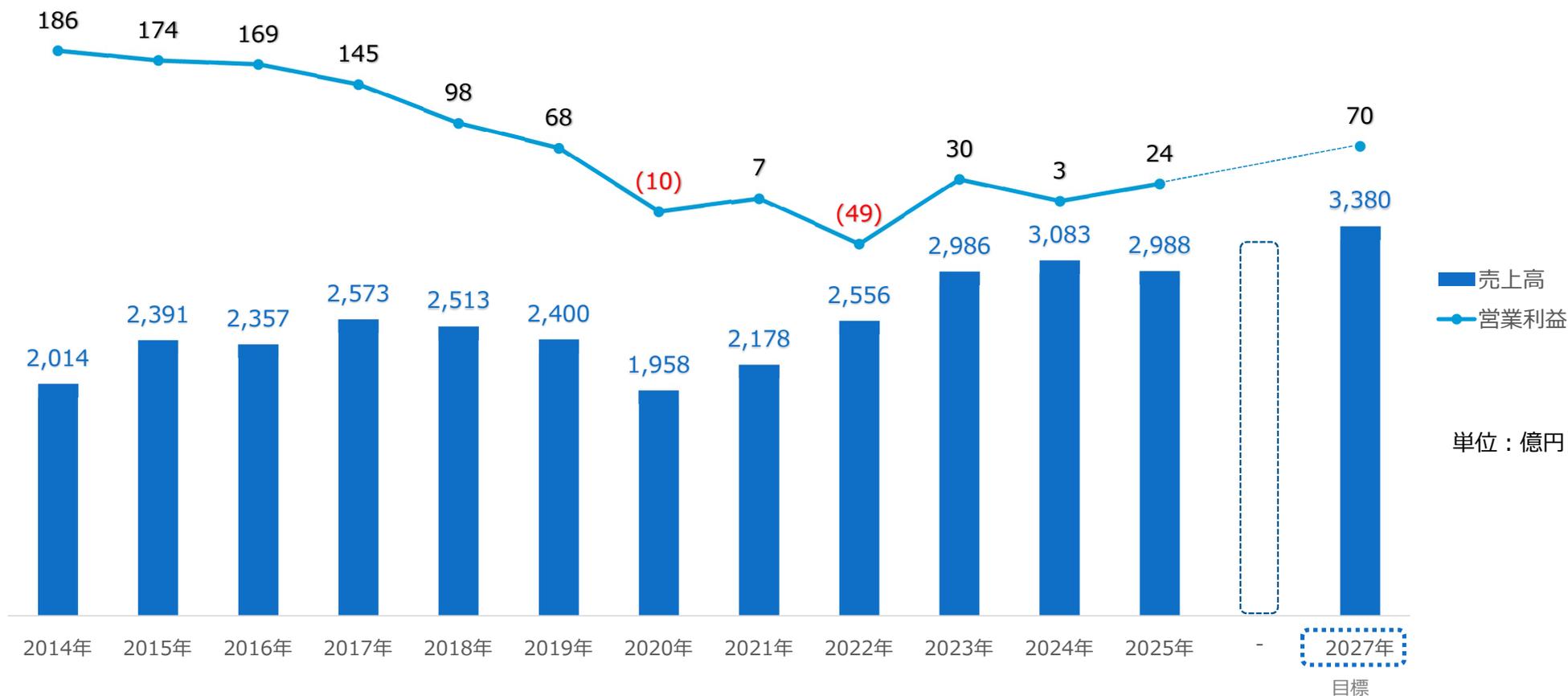
- * 売上高は、欧州等で売上の減少が見込まれ微減
- * 営業利益は、北米事業の収益回復等により20億円の増益を見込む

(百万円)

	2025年10月期 通期業績予想	2024年10月期 通期実績	増減額	増減率
売上高	298,800	308,382	▲9,582	▲3.1%
営業利益	2,400	365	+2,035	+557.3%
経常利益	4,500	2,727	+1,773	+65.0%
当期純利益	2,000	1,973	+27	+1.3%

想定為替レート： ¥148.50/\$、 ¥20.70/元、 ¥158.00/€

中期計画値



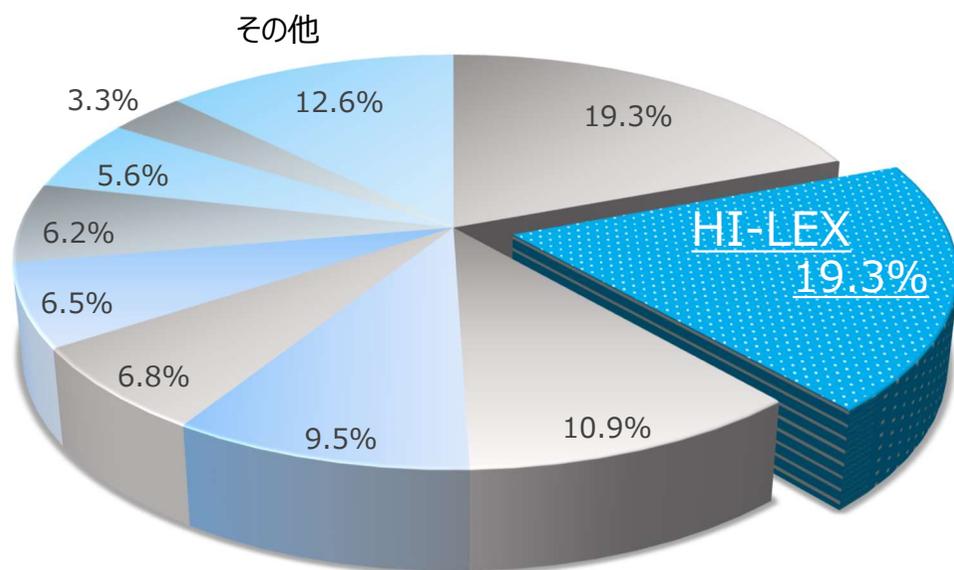
事業の現状と今後の方向性について

当社事業の状況（グローバルシェア）

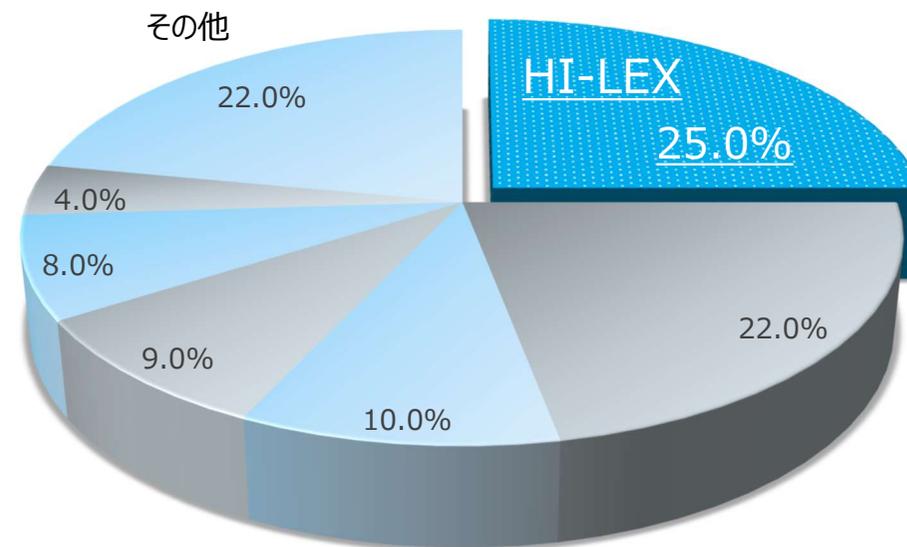
過去のM&Aによりウインドレギュレータのシェア拡大
グローバル市場でのプレゼンスを確立

（当社調べ）

ドアモジュール ウインドレギュレータ



コントロールケーブル

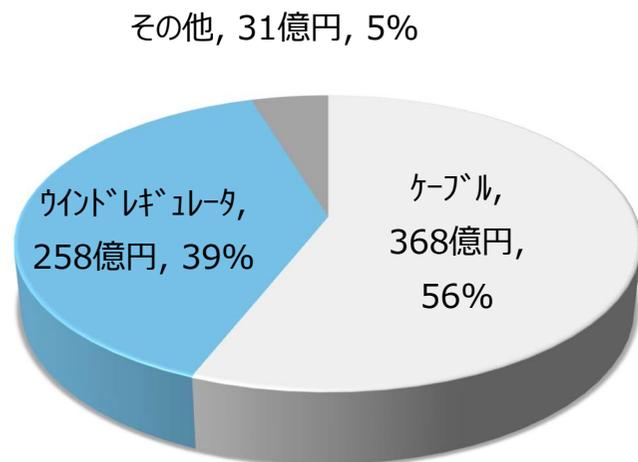


当社事業の状況（品種別売上高）

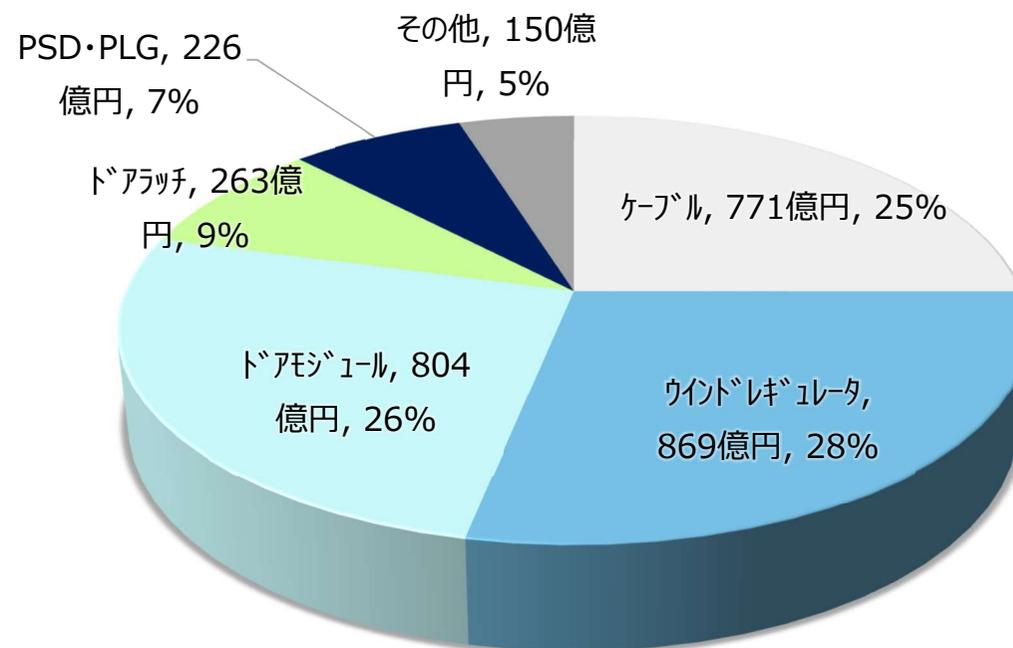
製品構成に大きな変化

- ・ 創業来の中核品種だったケーブルの比率は低下。
- ・ ドアモジュールとウインドレギュレータで計54%。
- ・ ドアラッチ・パワーキーシステム(PLG等)等の新品种も増加。

2000年度
連結 657億円



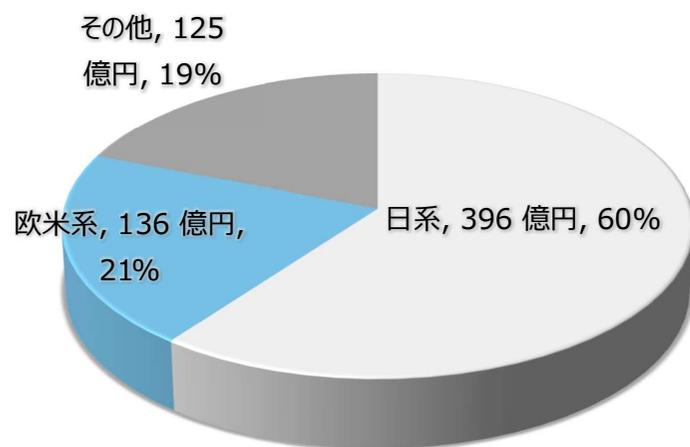
2024年度
連結 3,083億円



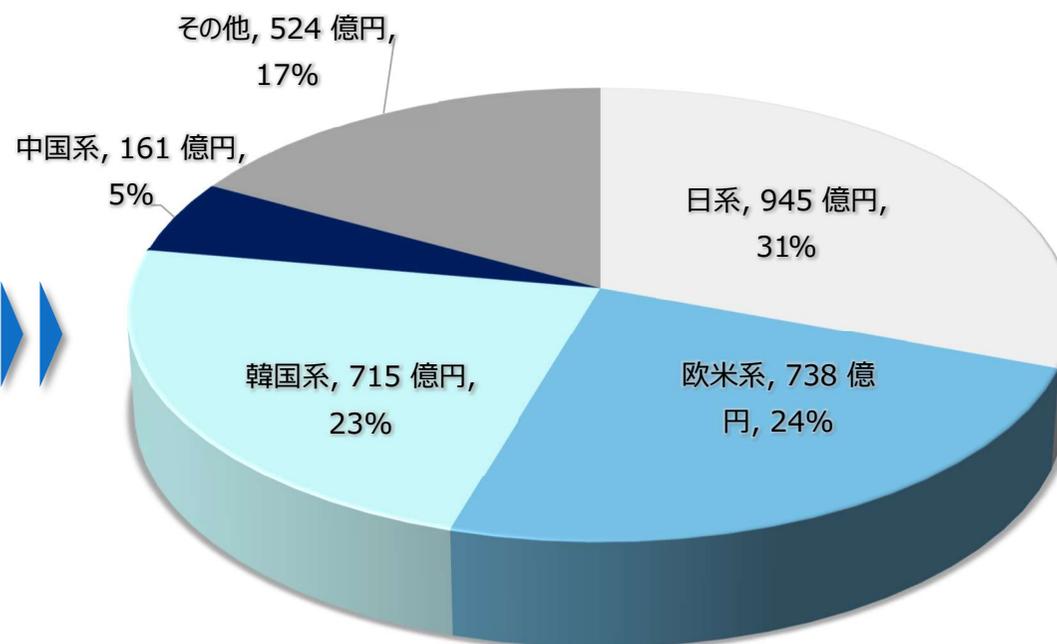
当社事業の状況（得意先別売上高）

過去のM&Aで欧州系・韓国系自動車メーカーへの売上が増加。
市場拡大で中国系への販売も増加。日系顧客向け比率は相対的に減少。

2000年度
連結 657億円



2024年度
連結 3,083億円

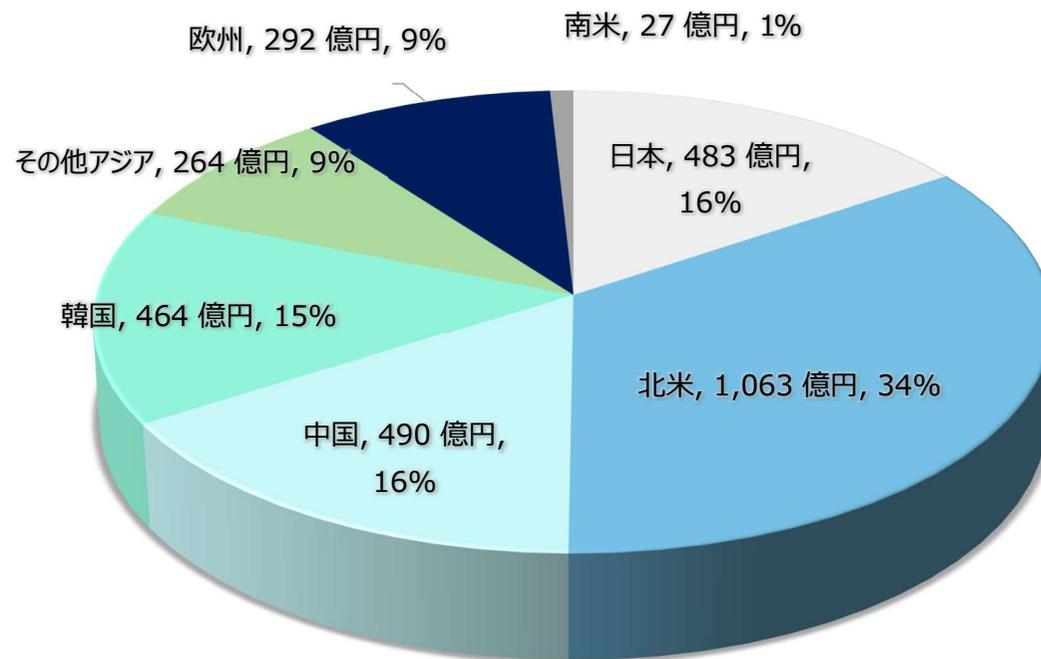


当社事業の状況（セグメント別売上高）

四半世紀の間に、世界各地へ進出。
売上の半分が2000年当時未進出地域、北米は大きく伸長。

2000年度
連結 657億円

2024年度
連結 3,083億円

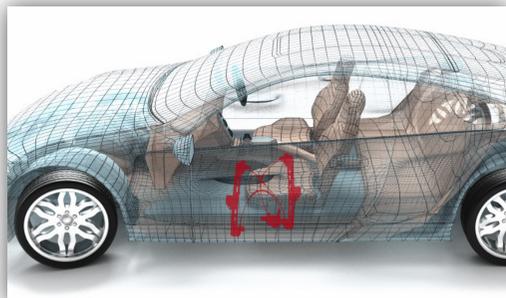


品種や地域の拡大に貢献した主要なM&A等

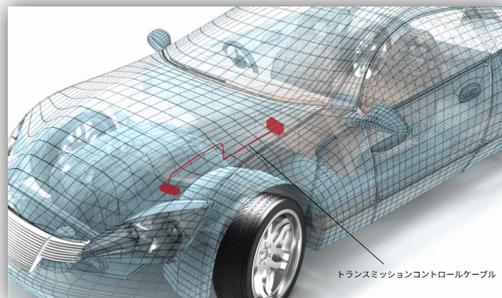
- 2003年 … 合併パートナー株式会社大同システムから
韓国におけるウインドレギュレータ事業の取得
- 2014年 … 株式会社リーハンドアの買収
(韓国リーハングループより韓国でのドアラッチ事業を取得)
- 2016年 … イタリア Lamesグループの買収
(イタリアを中心とした 欧州地域における
ウインドレギュレータ・ドアモジュール事業を取得)

将来の方向性について

(1) 自動車事業・・・コア領域（既存の主力事業）



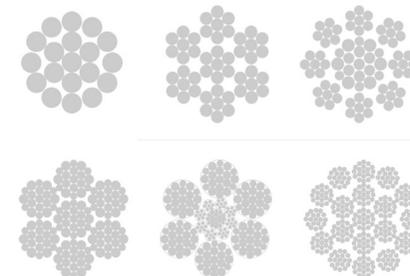
ウインドレギュレータ



コントロールケーブル



撚線



70年来の経験・技術的優位性を活かして、顧客ニーズに合った最適製品を提供

信頼性と競争力の向上で、収益性を強化し、付加価値を追求する

将来の方向性について

(2) 自動車事業・・・成長領域 1 【モビリティ変革に追従した新しい主力製品・新たなビジネス分野】

開発・生産方法の変化
(EVへの移行)



モジュール化・パッケージ化
ニーズの高まり



統合モジュール製品の拡充



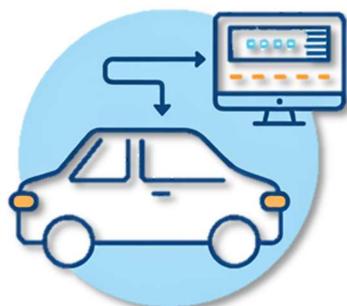
将来の方向性について

(2) 自動車事業・・・成長領域2 【モビリティ変革に追従した新しい主力製品・新たなビジネス分野】

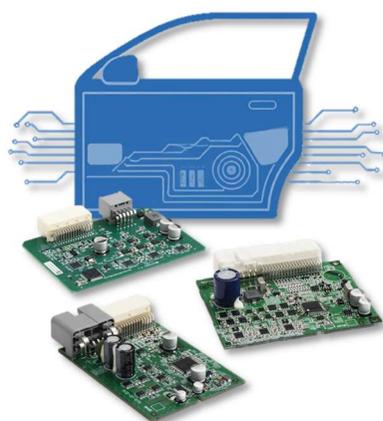
自動車のSDV化
(Software Defined Vehicle)

当社モジュール製品へ
制御技術を統合する

ドア（開閉）システム
サプライヤへ進化



SDV



将来の方向性について

(2) 非自動車事業 1 (産業機器事業)

ビジネスの規模感および収益性の追求



住設・建機…顧客との製品開発およびラインナップ展開



成長産業(ホット・物流) …新規テーマでの参入促進

新規事業…積極的なチャレンジを蓄積し社内人材の強化



新たな価値を持つビジネスの展開

将来の方向性について

(2) 非自動車事業 2 (医療機器事業)

グループの事業部門として自立・自律し、生産規模を拡大



ケーブル技術…医療機器(マイクロカテーテル、ガイドワイヤ、内視鏡処置具)の専門企業へ

精密加工技術…新分野(ロボット、再生医療、コンビネーション機器)を開拓

独自技術…総合人工血管メーカー(透析、循環器系)へ

海外拡大・グローバル展開

新たな価値を持つビジネスの展開

今後の取り組みについて

資産の効率性向上・・・政策保有株式の縮減を推進する。

政策保有株式の売却



政策保有株式保有高

連結純資産比20%超 ⇒ ターゲット 10%

株主還元方針

株主還元について

基本方針・・・長期的な安定配当を維持

- 環境変化等に応じた内部留保レベル
- 長期的な安定配当

内部留保資金の用途

- 成長投資への投入（新製品開発、新市場開拓、R&D）
- M&A等の戦略的な事業展開

HI-LEX CORPORATION

これからも魅力ある技術と人財に磨きをかけ、
お客様に困り事があればまず最初に声をかけていただける会社、

『 To be the First-Call Company 』
for Customer's better choice !!

を当社のミッションステートメントとして掲げ、
その一つ一つのご縁を大切にHI-LEXコーポレーションは発展し続けます。

注意事項・免責事項

本資料は情報提供を目的として作成されており、投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社により作成されております。これら記述は将来における業績達成を保証するものではなく、国内外の予測困難なリスクや不確実性による影響を受けた結果、実際の業績等は見通しと異なる結果となる可能性があります。

当社は本資料の情報を利用した結果生じたいかなる損害に関して、一切責任を負うものではありません。

本資料に記載されている情報について、資料作成後の新たな情報の発生に伴い将来の見通しに関する記述を更新もしくは改訂することを当社は約束するものではありません。

本資料に記載されている情報の内容については、予告なしに変更される可能性があります。